

リノベーションまちづくりセミナー「河内長野市 郊外の魅力的な暮らし方」

講演録 (概要版)

日 時	平成30年11月17日(土) 10:00~12:00	場 所	キックス (市民交流センター)
主 催	河内長野市		
共 催	大阪の住まい活性化フォーラム	協 力	大阪府
参加者	計27名		

○プログラム

(1) 講演①『土地と人の力が実現する都市のリノベーション』

大阪大学大学院工学研究科 教授 木多 道宏

(2) 講演②『移住定住型フリーランス起業について』

デザイン企画制作事務所 Atelier NOAHNOOR 代表 天川 麻子

(3) 講演③『空き家利活用に係る手順等について』

(一社)全国空き家相談士協会 関西支部 総務委員長 妹尾 和江

(4) パネルディスカッション

兵庫県立 人と自然の博物館 研究員 福本 優

大阪大学大学院工学研究科 教授 木多 道宏

デザイン企画制作事務所 Atelier NOAHNOOR 代表 天川 麻子

(一社)全国空き家相談士協会 関西支部 総務委員長 妹尾 和江



リノベーションまちづくり
セミナー

事前申込制
先着
定額
100名
参加無料

河内長野市

郊外の 魅力的な 暮らし方

日時
2018年11月17日 土

10:00~12:00
9:30より受付

会場
キックス(市民交流センター)
3階 大会議室AB

講演の3名を加えて、
「郊外での魅力的な暮らし方」についてトーク!

パネルディスカッション

主催：河内長野市 共催：大阪の住まい活性化フォーラム 協力：大阪府

講演 1
土地と人の力が実現する
都市のリノベーション
木多 道宏
大阪大学大学院工学研究科 教授

講演 2
移住定住型
フリーランス起業について
天川 麻子
デザイン企画制作事務所
Atelier NOAHNOOR 代表

講演 3
空き家の利活用の進め方
妹尾 和江
(一社)全国空き家相談士協会 関西支部 総務委員長

福本 優
兵庫県立 人と自然の博物館 研究員

【概要】

(1) 講演①『土地と人の力が実現する都市のリノベーション』

- ・一つの場所をリノベーションするということは、その空間だけでなく地域全体の問題であり、それまでの人の繋がりの醸成があり、また新しい場所づくり・組織づくりが発生することで継承されていく。
- ・郊外住宅地は丘陵地を切り開いて開発しており、旧集落のコミュニティと現在のコミュニティを土地の利活用・空家のリノベーションで人を繋いでいくことができる。
- ・つくばニュータウンは職住一体の自立的都市として計画されたが、つくばエクスプレス開通により郊外住宅化し元々の考え方が揺らいできている。それに対する一つの答えは、一人一人が新しい就労スタイルを紡ぎあげること。河内長野市でも学生の可能性やクリエイティビティを育てていくことが大事。

(2) 講演②『移住定住型フリーランス起業について』

- ・結婚を機に移住したが、都心にも近いというのは魅力であった。子どもが歩きだしたのをきっかけに家族と相談してデザイン会社を起業。
- ・最初は自宅に事務所を構えていたがスタッフが増え手狭になり、また良い物件を紹介いただいたことをきっかけに南花台のコノミヤの空きテナントへ移転。
- ・働く母目線で、「職住スーパー近接」を勧める。自宅が近く朝ギリギリまで家事ができ、学校も近いため子どもの呼び出しにもすぐ駆け付けられる。何より、仕事帰りにスーパーで夕食の買い出しができることが大きな魅力。

(3) 講演③『空き家利活用に係る手順等について』

- ・コンバージョンを進めるポイントは固定観念にとらわれず柔軟な発想をすること。また、地域ぐるみの連携・協力が必要。
- ・売却の場合はまずは不動産業者に相談し、売却の媒介契約の締結を。媒介契約は3種類あるが、おすすめは専任媒介契約。

(4) パネルディスカッション

- ・小さな場所づくりが実は都市の一部で大変重要。パブリック、セミプライベート、プライベートと社会に開かれた空間づくりで都市全体が上手く生き生きと機能する。
- ・何か始めたい人が聞きたいことが聞きたい場づくりということでオフィスは常にオープンにしており、相談に来た方には人を繋ぐなどのお手伝いしている。行政ではできない部分であると感じている。
- ・立地適正化法も空家の問題も考え方一つ。住みづらくなっても良いと考える発想の転換が必要で、リノベーションも一緒。
- ・コンパクトシティにするには、地域に長年蓄えられた土地の脈略を解いていくことが大事。団子のように縮小するのではなく、地域の脈略・筋を発見し、それに寄せていくことが大事。
- ・河内長野はニュータウン、旧集落、各駅前地区とそれぞれの脈略がある。その境界部分で元々の暮らしで使っていたものを活かし、今の人達でリノベーションにより新しく使うことで脈略どうしが繋がるのでは。
- ・近くに職場があり子どもが両親の背中を見て暮らすことが重要であり、そのために用途混在が必要。住宅をコンバージョンするだけでなく、団地内の近隣商業地域に職場を構えること、周辺の地域で職場を構えることも広い意味で用途混在。新しい就労スタイル、職住スタイルを作り上げる人を大事にすることも必要。
- ・1件がリノベーション・コンバージョンするだけで地域に連鎖し地域が動き出す。それを周りは見守り、育んでいくことが必要。